

紫峰の風

shihou no kaze



筑波大学
University of Tsukuba
第5号 2017年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を、基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへとお届けする」という意味が込められております。



(左) 御興企画で総合優勝した芸術専門学群の御興 (右上) やどかり祭前夜祭で勢いよく燃える火文字 (右下) 紫峰会基金援助金目録の贈呈

やどかり祭を終えて

やどかり祭は今年で43回をむかえ、大学とほぼ同じ歴史を歩んできています。今年は前夜祭で多少雨が降ったものの、本祭は天候に恵まれ、模擬店も企画もほぼすべて順調に進めることができ、みなさま楽しんでいただけたのではないかと思います。

我々宿舎祭実行委員会は、入学したばかりの新入生に交流の場を設けたいという想いでやどかり祭を作っています。閉会宣言をした時に新入生の笑顔を見ることができ実行委員長としてこの上ない喜びを感じました。新入生が、この祭を通してできた仲間と共に、今後の大学生活を楽しんでいただければ、実行委員として

これほど嬉しいことはありません。最後に、第43回やどかり祭の成功は紫峰会基金をはじめとする多くの方々にご支援ご協力頂いたおかげです。この場をお借りし感謝申し上げます。ありがとうございました。

(寄稿/第43回宿舎祭実行委員会委員長 岩本淳宏・エシス3年)

今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春ABCモジュール期末試験	8月2～8日
同(東京キャンパス・夜間)	7月25日、8月2～5日
春学期授業終了	8月8日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日	8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	8月1、9、10日
夏季休業	8月10日～9月30日
同(東京キャンパス・夜間)	8月11日～9月30日
春学期卒業式	9月25日
春学期大学院学位記授与式	9月25日
秋学期入学式	9月29日
秋学期授業開始	10月2日
学園祭	11月3～5日
秋季スポーツ・デー	11月18日、19日

—内容—

- キャンパスニュース、学類・専門学群紹介……………1頁
- 就職特集：平成28年度卒業生の進路状況……………2頁
- 学生相談室から、桐の葉日記、お知らせ
- 特集：学生が作った広報誌特集!!!……………3頁
- 文サ連、芸サ連、全代会、体育会活動紹介、……3、4頁
- 団体お悩み掲示板

キャンパスニュース



体育会合同新歓 第一エリア食堂にて

体育会合同新歓

4月7日、入学式後に体育会合同新歓が本学第一エリア食堂で行われました。体育会に所属する多くの団体が一堂に会し、新入生への勧誘活動を行う本企画ですが、今年度は30近い団体の協力を得て、200人以上の新入生が参加してくれました。部活、サークルは大学生活の中で大きな割合を占めるものであり、多くの選択肢と向き合う新入生の役に、少しでも立ってあげたいと思います。そのうえで、体育会の団体に加入してくれば、企画者冥利につきます。

(寄稿/体育会執行委員会企画局長 湊和樹・社会2年)



文サ連合同新歓

文サ合同新歓

文化系サークル(以下文サとする)合同新歓が4月13日に行われました。文サ合同新歓とは、文サ連に所属する団体が一堂に会して新歓を行う場となりますが、今年は30もの団体が参加してくださいました。新入生は色々なサークルのブースへ行き、出されたオードブルを食べながら、楽しそうに話を聞いていたようでした。最後は斬桐舞の力強いパフォーマンスで締めくくり、大盛況で終わりました。皆さんのサークル選びの手助けとなったならば幸いです。

(寄稿/文化系サークル連合会企画局長 原島舞・地球2年)



写真左上から
正式種目女子バスケットボールの試合での攻防の一幕
紫峰会基金から援助金目録の贈呈
参加者全員によるバルーンリリース
アダプテッドスポーツ車いすポートボールを体験する



第41回春季スポーツ・デーを終えて

皆様、こんにちは。第41代スポーツ・デー学生委員会委員長の百瀬彩です。おかげさまで、去る5月13、14日に開催された、第41回春季スポーツ・デーは1日目の悪天候にも関わらず、延べ参加者数7,249人と、大盛況のうちに幕を閉じました。これもひとえに皆様のご理解とご支援によるものと深く感謝しております。

今年はスポーツ・デー初の試みとして体育会との合同企画「横断幕作成プロジェクト」を行い、この企画を通して、スポーツ・デーは沢山の方々のご協力、ご支援のもとで開催できていることをより実感致しました。皆様への感謝の気持ちを忘れずに、秋季スポーツ・デーに向けて委員一丸となって頑張っていきますので、今後とも筑波大学スポーツ・デーを何卒よろしくお願致します。

(寄稿/第41代スポーツ・デー学生委員会委員長 百瀬彩・創成3年)

平成28年度の学群卒業生数は、2,268名でした。うち約43%が大学院への進学、47%が就職(研修医含む)、10%がその他(資格・採用試験準備等、帰国)でした。詳細は、「卒業生・修了者の進路状況」を参照してください。

筑波大学では、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門と学生部就職課が連携し、支援活動を行っています。

キャリアサポート部門に各教育組織の就職担当教員によるキャリア支援担当教員会議を設置し、各教育組織と連携して支援環境やネットワーク構築を行い、きめ細かな学生支援を目指しています。また、大学生活を有意義に過ごし自分に気づく機会となるよう、総合科目「キャリアデザイン—働く自分—」及び「Career Development in Global Context」を開設し、来たる就職活動における自己分析にも役立つよう支援しています。なお、従来にも増して学生の希望に応じた就職ができるよう、就職課を中心に企業・団体、教育委員会・人事委員会からの情報収集、就職ガイダンス・模擬試験等を実施しております。さらに、就職課に併設した「就職資料コーナー」では、各種資料や情報を提供するとともに、企業の採用活動や学生の就職活動に対応した筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門・学生部就職課ホームページ(<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>)を運営しています。また、就職課に就職相談室を設け、年間を通していつでも学生の就職相談に応じています。なお11月から各種就職ガイダンスの実施を予定しておりますので、掲示及びキャリアサポート部門・学生部就職課ホームページで、日程及び内容を確認の上、御子息・息女様に参加されるようお勧めください。

就職の動向について(企業・団体)

新卒採用は企業経済の継続的に良好な景況感を背景にして、業界別に見ても全般的に上昇傾向にあり、各企業・団体の採用意欲も高くなっています。

学生にとっては「売り手市場」といえる傾向にありますが、極めて短期間で将来の選択を迫られる現状があります。入社後の企業間におけるミスマッチを防ぐためにも細目な情報収集を行い、企業

研・理解を深め本選考に備えることが求められてきます。また就職活動の一環として、インターンシップに参加する学生も年々増加傾向にあります。インターンシップをはじめ、説明会、セミナーや座談会など解禁以前にも様々なステップが実施されています。ただ闇雲に参加するのではなく、限られた時間を効率的に使いつつ、学生が主体となり自らの将来を見据えて計画的に活動する必要があります。

面接試験においては「人物重視」の傾向は変わらず、就職活動の根底にあるものは「人間力」という、社会人として活躍するための術となるものです。「内定」がゴールではなく、その後続いていく人生と向き合い進路選択を行うことが「人間力」を高めるための一歩とも言えます。

本学では就職活動の事前準備として、就職活動の流れ、エントリーシート、面接対策等の各種ガイダンスや業界研究及び学内企業説明会を開催し、学生が就職活動に取り組めるよう情報提供や支援を行っています。

就職動向について(教員・公務員)

公立学校教員採用試験は7月上旬から実施されました。平成28年度の卒業生のうち教員になった者は就職者の約6.1%(65名)でした。平成28年度の公務員採用試験は、国家総合職が5月下旬、国家一般職が6月中旬、地方上級は6月下旬以降順次、実施されました。平成28年の卒業生のうち公務員になった者は就職者の約12%(128名)でした。公務員になるためには、筆記試験と論文、面接などの試験があります。ここ、2～3年、多様な人材を確保するために、人物面の評価を重視する傾向があります。筆記試験の負担を軽減するいわゆる「新方式」の試験を実施する自治体も増加傾向にあります。

就職課では、教員志望者のために、教育委員会による採用選考試験説明会を実施し、最新の採用動向や試験情報を入手しています。また、志願書や論文の書き方、模擬授業、集団面接、集団討論などの試験対策講座を開講しています。公務員志望者のために、学内に予備校の公務員試験対策講座を開講しています。一人ひとりに適した助言を行なうために、学年を限定せずに早い段階から就職相談にのっています。

平成29年度 学群・学類3年次・修士1年次向け就職ガイダンス 予定(企業・団体)

日時	会場	内容	参加企業
29.10.11(水) 12:30-13:40	就職活動準備講座 会場：大学会館講堂	秋期就職オリエンテーション	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターキャリアサポート部門/就職課
29.11.8(水) 15:15-18:00	就職活動準備講座①② 会場：1H101	職種・業界研究	同上
29.11.15(水) 15:15-18:00	就職活動準備講座③ 会場：1H101	エントリーシート対策	
29.11.21(火) 15:15-18:00	就職活動準備講座④ 会場：1H101	面接対策	
29.12.4(月) 15:15-18:00	就職活動準備講座⑤ 開場：1H101	グループディスカッション対策	
29.12.5(火) 15:15-18:00	就職活動準備講座⑥ 会場：1H101	就活のためのマナー講座	(株)リクルートキャリア 志田 早美氏
29.12.6(水) 15:15-18:00	就職活動準備講座⑦ 会場：1H101	一般常識テスト受検会	株式会社 プライトネス 尾崎 万里子氏 株式会社コナカ 武田 淳二氏 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターキャリアサポート部門/就職課
29.12.13(水) 15:15-18:00	就職活動準備講座⑧ 会場：1H101	就活のためのメイク・着こなし講座	
1月～3月 1回:1.5時間 各週2～3回	フォローアップ① 会場：会場未定 フォローアップ② 会場：会場未定 フォローアップ③ 会場：会場未定	エントリーシート対策(事前予約制) グループディスカッション対策(事前予約制) 面接対策(事前予約制)	

平成30年度 学内企業説明会 予定

開催日時	会場	参加企業	形式
30.3月開催	学内合同企業説明会 会場：大学会館	参加企業研究事前セミナー 学内合同企業説明会	ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターキャリアサポート部門/就職課 ブース形式 約700社出展

※変更が生じる場合がありますので、「筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター キャリアサポート部門/学生部就職課ホームページ(<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>)」で確認してください。

平成28年度 卒業生・修了者の進路状況

学群・学類

学群・学類	卒業生	進学者	就職者	就職者の内訳					その他	
				企業	教員	公務員	独法等	研修医		
文化学群 人文・ 社会学群	人文学類	115 (61)	34 (19)	60 (33)	43 (25)	2 (2)	9 (4)	6 (2)		21 (9)
	比較文化学類	85 (56)	12 (3)	57 (40)	47 (32)	1 (1)	8 (6)	1 (1)		16 (13)
	日本語・日本文化学類	40 (30)	7 (4)	30 (24)	20 (18)	6 (2)	1 (1)	3 (3)		3 (2)
社会学群	社会学類	115 (41)	16 (4)	84 (30)	53 (18)	1	26 (9)	4 (3)		15 (7)
	国際総合学類	93 (61)	14 (9)	65 (41)	55 (33)	2 (2)	8 (6)			14 (11)
学人間	教育学類	36 (17)	8 (3)	18 (9)	5 (2)	4 (2)	6 (4)	3 (1)		10 (5)
	心理学類	49 (21)	15 (7)	26 (11)	22 (10)	1 (1)	3			8 (3)
	障害科学類	34 (26)	10 (7)	21 (17)	11 (10)	3 (1)	5 (4)	2 (2)		3 (2)
生命環境学群	生物学類	89 (40)	60 (26)	23 (10)	20 (9)	1	2 (1)			6 (4)
	生物資源学類	149 (76)	103 (49)	36 (22)	27 (17)	2 (2)	7 (3)			10 (5)
	地球学類	57 (16)	39 (9)	11 (5)	10 (5)		1			7 (2)
理工学群	数学類	44 (5)	31 (1)	11 (3)	6 (1)	5 (2)				2 (1)
	物理学類	61 (8)	44 (4)	13 (2)	12 (2)	1				4 (2)
	化学類	49 (14)	40 (9)	5 (4)	2 (1)	3 (3)				4 (1)
	応用理工学類	146 (15)	119 (11)	14 (3)	12 (2)		2 (1)			13 (1)
	工学システム学類	134 (10)	118 (8)	15 (1)	12 (1)		2	1		1 (1)
	社会工学類	133 (23)	55 (6)	67 (16)	58 (15)		8 (1)	1		11 (1)
情報学群	情報科学類	93 (6)	70 (4)	19 (1)	18 (1)		1			4 (1)
	情報メディア創成学類	61 (18)	39 (8)	20 (10)	20 (10)					2
	知識情報・図書館学類	115 (61)	24 (10)	80 (48)	56 (30)		20 (15)	4 (3)		11 (3)
医学群	医学類	107 (48)		106 (48)					106 (48)	1
	看護学類	81 (76)	6 (6)	74 (69)	65 (60)	2 (2)	7 (7)			1 (1)
	医療科学類	35 (30)	21 (17)	13 (12)	12 (11)		1 (1)			1 (1)
体育専門学群	249 (71)	53 (13)	154 (48)	115 (35)	29 (11)	10 (2)			42 (10)	
芸術専門学群	98 (87)	32 (27)	46 (43)	42 (39)	2 (2)	1 (1)	1 (1)		20 (17)	
学群合計	2,268 (917)	970 (264)	1,068 (550)	743 (387)	65 (33)	128 (66)	26 (16)	106 (48)	230 (103)	

(注) ()内は女子を内数で示す

修士課程・博士前期課程・博士後期課程

研究科	修了者	進学者	就職者	就職者の内訳					研究員	職務復帰	その他
				企業	教員	大学教員	公務員	独法等			
教育	79 (27)	1	58 (20)	7 (2)	46 (15)		5 (3)			11 (3)	9 (4)
人文社会科学 修士	39 (19)	7 (4)	9 (6)	8 (5)				1 (1)		8 (2)	15 (7)
人文社会科学 前期	57 (38)	13 (6)	23 (15)	16 (12)	4 (2)		3 (1)			1 (1)	20 (16)
ビジネス科学 前期	57 (11)	4 (1)								51 (9)	2 (1)
ビジネス科学 専門職	31 (9)									30 (9)	1
数理工学 前期	266 (33)	30 (1)	224 (31)	198 (26)	11 (2)		10 (2)	5 (1)			12 (1)
システム情報工学 前期	455 (71)	35 (5)	379 (57)	371 (53)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	2		3	38 (9)
生命環境科学 前期	292 (119)	49 (9)	193 (93)	162 (84)	5 (1)		25 (8)	1	1 (1)	4 (1)	45 (15)
人間総合科学 修士	93 (51)	21 (9)	27 (13)	26 (12)			1 (1)			24 (15)	21 (14)
人間総合科学 前期	359 (179)	66 (28)	160 (79)	117 (57)	21 (10)	7 (1)	11 (9)	4 (2)	2 (1)	51 (27)	80 (44)
図書館情報メディア前期	51 (21)	5 (2)	39 (16)	36 (14)	1 (1)		1	1 (1)		1 (1)	6 (2)
博士前期・修士 合計	1,779 (578)	231 (65)	1,112 (330)	941 (265)	89 (32)	8 (2)	60 (26)	14 (5)	3 (2)	184 (68)	249 (113)
博士後期 合計	450 (135)		138 (38)	75 (15)	4 (1)	35 (18)	3	21 (4)	98 (29)	136 (30)	78 (38)

(注) ()内は女子を内数で示す

採用企業ランキング

順位	企業名	人数	順位	企業名	人数
1	株式会社日立製作所	17人	6	キヤノン株式会社	10人
2	株式会社ワークスアプリケーションズ	14人	9	株式会社NTTドコモ	8人
3	株式会社アンソー	12人	9	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(NTTデータ)	8人
4	富士通株式会社	11人	9	ソニー株式会社	8人
4	本田技研工業株式会社	11人	9	日本アイ・ビー・エム株式会社	8人
6	東日本旅客鉄道株式会社(JR東日本)	10人	13	ソフトバンク株式会社	7人
6	ヤフー株式会社	10人	13	パナソニック株式会社	7人

医師国家試験 第111回(平成28年度実施)医師国家試験の状況

試験日	受験者(人)	合格者(人)	合格率	備考
平成29年2月11日～平成29年2月13日	107	106	99.1%	今年度卒業生
	7	6	85.7%	過年度卒業生
合計	114	112	98.2%	

学類・専門学群紹介

体育専門学群

学群紹介

体育専門学群は、優れた運動技能と幅広い運動経験を基盤に、体育・スポーツ及び健康に関する総合的な知識と最新の科学的知見を活かしながら、組織を適確にマネジメントして問題解決を図ることのできる知・徳・体を具備した体育・スポーツ界のリーダーを養成することを目的としている学群です。

学生の声



私が筑波大学体育専門学群に入学しようと思った理由は、2つあります。1つ目は、部活です。私は小学校1年生からバレーボールをしていて、中学生の頃に筑波大学のバレーボール部が強いと聞いて、そこでバレーをしてみたいと思ったからです。筑波大学の体育会の部活は、全国トップレベルのチームがたくさんあり、日本一や全国のトップレベルと対戦できるというなかなか経験できないことを体験することができ、今後に大きな影響になります。2つ目は、私は高校の体育教師を目指しているからです。この学群は特に、教師になるための授業や実習がとても充実しており、今後の学校界を引っ張っていきける存在になれると思います。

この学群に入学して良かったことは、新しくできた友達が何かの競技の日本一になっていたりと、全日本に選ばれていたりと、周りの同期や先輩が全国トップレベルの実力の持ち主が多くいて、これもまたなかなか経験できない特殊な環境で過ごすことができ、そこから多くの刺激をもらうことができます。また授業に関しては、教師になるための授業だけでなく、体育に関する専門的な分野を学ぶことができ、他の大学では学べない授業がたくさん用意されています。

卒業後の進路は、アスリートや教師だけでなく、スポーツトレー

ナーやスポーツアナリスト、スポーツ系の有名企業に就くことができ、スポーツ界の第一線で活躍することができます。

この学群に入学して後悔することは絶対ないので、安心してお子さんを見守っててください。（寄稿/米澤翔太・体専3年）

授業紹介 テーピング・マッサージ



テーピング・マッサージ授業風景

体育専門学群では、1年次にテーピング・マッサージという授業があります。この授業では、アスリートとして身につけておきたい、テーピングやマッサージの知識・技術を身につけることができます。将来アスレチックトレーナーを目指す学生にとっては、その道を目指す上での基本的な内容を、また教員を目指す学生にとっては、生徒に対する応急処置の方法も同時に学ぶことも可能です。

また、体育専門学群のほとんどの学生が、運動部に所属しているため、この授業で学んだ知識を4年間の部活動に活かすことができます。自身・チームメイトの障害に対して正しいアプローチを身につけることができ、大変実用的な授業となっています。

（寄稿/神田敬邦・体専2年）

理工学群 社会工学類

学類紹介

社会工学類は、社会問題のメカニズムを科学的に理解し、より良い社会システムを提案する人材を育成する学類です。3つの主専攻のほか、エリア制度を取り入れることによってより柔軟で独自性のあるカリキュラム決定が可能になっています。

学生の声



社会工学と聞いて、一体どのようなことを学ぶ学類なのだろうと思う人が多いと思います。実際私も最初何をしているのか詳しくは分かりませんでした。しかし、調べた結果都市計画という専攻があることを知り、私は興味を持ちました。元々は建築系に興味があった私ですが、それを知ってから建築よりも広範囲である都市のことを学ぶことができる社会工学類に入りたい、という願望が芽生えました。それが社会工学類を選んだきっかけです。

社会工学類に入ってから、3つある専攻のうち都市計画でない経営工学、社会経済の分野を志望して入学した人たちとともに学び生活していくうちにわかったことがあります。その2つの分野は都市計画とは大きく学ぶ内容が違うため、自分の興味のある分野でない授業は面白いと思えるものとあまりそう思えない授業が存在することです。しかしながら都市計画の分野の実習をいくつかやっていく中で分析のような他分野で学ぶことを利用しないといけない場面も出てきます。このように1つの分野に偏った能力ではなく、様々な分野の能力を得られることは社会工学類の強みではないかと私は思いました。

「筑波の社工」でしか学べないことがある、と教授たちはよく言います。他の大学のことは分かりませんが、実際に人間関係だけで考えてもグループワークを行う授業が多い社工では多種の分野

に進む人と関わりを持たざるをえないため、様々な意見を聞くことができるとも面白いと思います。（寄稿/信賀春輝・社工3年）

授業紹介 社会工学実習



社会工学実習

入学したばかりの1年生にとって社会工学という学問の入り口となるのが1年春学期の社会工学実習です。

この実習は社会工学類の3つの主専攻の内容を3週ずつ体験するもので、社会経済システム分野ではゲーム理論やマッチングについて、経営工学分野ではビジネスでの意思決定やデータ活用についてそれぞれ解説を受けながら専用のプログラム上で学びます。

都市計画分野ではつくば市中心部の空地・店舗跡地の活用法をグループで提案し、3週目にコンペ形式の発表会を行います。限られた時間で現地調査から資料作成まで行うのは大変ですが、どのグループの提案も力作ぞろいです。

どの分野もただ体験するだけではなく、各分野が取り組んでいる現実の課題に向き合うことができ、自分がどの主専攻に進みたいか考える機会にもなります。（寄稿/佐野雅人・社工2年）

人間学群 心理学類

学類紹介

心理学類は、人の心や行動を科学的に探究する学類です。その一番の特徴は学べる分野の幅広さ。実験心理学、教育心理学、発達心理学、社会心理学、臨床心理学の5つの研究領域から、心と行動への多様なアプローチを身につけることができます。

学生の声

「1つの学科で幅広い分野の心理学を学べる」これが筑波大学の心理学類を志望した動機です。ただ広いだけでなく、その広い分野に対応した先生方がいらっしゃるのでも「広く、浅く」ではなく、「広く、深く」学べる点が非常に魅力的でした。これだけ多くの先生が在籍されている心理学部は他にないと思います。

入学して感じたことは、実践的な授業の充実です。心理学類では卒業研究までに授業として実践的研究を行う機会が2度あります。教員指導のもと行われるこの授業を通して、研究に必要な基

本的な能力の修得はもちろん、実際に研究して初めて分かる研究の面白さ、難しさに直面しました。この授業が2年の秋という早い時期に行われたことで、私にとっては自分の専攻や将来の進路を考える意味で貴重な経験になりました。また、学類の雰囲気としては、自分をしっかり持ちつつ思いやりのある方が多い印象です。

私は現在、データの収集方法や分析方法について学ぶ心理統計学に興味を持ち、それに関するテーマで卒業研究を行っています。来年以降は夢や目標に向かって進む人たちの内面を支えたいという思いから人材育成や人材の能力を評価する仕事に携わる予定です。心理統計学を学んだことがこの仕事を志したきっかけでしたが、この大学で幅広く心理学を学んだからこそ人を支える仕事に就きたいと思うようになりました。大学での経験がこれから先もきっと自分を支えてくれると信じています。

（寄稿/小林大悟・心理4年）

授業紹介 心理学研究法

この講義は4年生の卒業研究に向けて、心理学研究の基礎を実践で学ぶ授業です。調査と実験に分かれて、先生方や大学院生がやっている研究の中で自分が興味のあるものを選び、一緒に研究します。実際に自分が実験者になったり、アンケート調査を実施したりします。

この写真は私の研究法の実験風景です。私は実験を選択したので、実際に実験者になって、実験しています。「探索課題を通じた接触がニオイの印象に与える影響」という研究をしました。実験で得たデータも自分たちで分析します。その後発表会があって、みんなの前で発表します。卒業研究において研究のやり方や発表の方法も学べて、卒業研究に生かせる講義です。

（寄稿/新妻里華・心理3年）



心理学研究法

生命環境学群

生物資源学類

学類紹介

生物資源学類は人類の生存、安全で豊かな生活の基本である生物資源に関する総合的学習を通じ、地域的かつ地球的視野をもって、我が国及び世界の食料の確保、環境と調和した生物資源の開発・保全と持続的利用に貢献できる人材を育成することを目的とする学類です。

学生の声

生物資源学類は他の大学で言う農学部とお考えください。とにかく扱う分野が幅広いです。それも資源、環境、食料など私たちの生活に近いものがテーマとなっているので、学ぶ楽しさを感じやすいのが特徴だと思います。悪く言うと専門性が低いのですが、興味がないと思っていたことでも授業を受けてみたら意外と面白かった、なんていうこともあるので、私はその点をメリットと捉えています。何がやりたいのかわからないという人にとって生物資源学類は良いかもしれません。

1、2年生の授業は、自分の行きたいコースを見据えて基礎的なことを学びます。その頃まではまだ高校の延長感がありました。しかし、3年生になると4つのコースに分かれるので、専門的な内容を学ぶことができます。自分は元々食品の加工技術に興味があったため、工学コースを選びました。先日の食品工学実験では木綿豆腐を作りました。実験を通じて、改めて食品加工の良さを感じています。工学コースには水や土を取り扱う授業が多いです。例えば、水や土の挙動を学ぶことで河川管理や土砂災害についての理解を深めたり、河川の流量や降水量を考慮して灌漑用水を検討したりしています。他にも色々な授業を取っていて、コースが分かれてもまだ幅広く学んでいます。

筑波大学紫峰会基金後援 第43回筑波大学学園祭

雙峰祭

雙峰祭紹介

今年は11月3日(金)～5日(日)に筑波大学学園祭「雙峰祭」が開催されます。昨年度の雙峰祭への来場者はなんと3万人以上!その広大なキャンパスを生かし、学内4つのエリアにて学生や教職員によって400以上の多種多様な企画が行われています。

第43回雙峰祭のテーマは「筑波日和」です。雙峰祭という日が、本学の学生が内に秘めている力を存分に発揮できるように、また参加者全員が日常と異なる本学の魅力を存分に味わえるような絶好の「筑波日和」になってほしい、という願いが込められています。

筑波大学の魅力に溢れた3日間、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



11月3,4,5日開催 — 筑波織り —

イチオシ企画紹介

○樽酒振る舞い

樽酒振る舞いは、茨城県で作られた地酒を20歳以上の方々を対象に無料で配布する企画です。来場者の方々へ茨城県の知られざる魅力を発信します。第43回雙峰祭の開催によって、40回目の企画実施という節目の年を迎える今年、新たな挑戦をしようとしています。今までとはひと味違う「樽酒振る舞い」にぜひご参加ください。

○つくばイチ受けたい授業

つくばイチ受けたい授業とは、普段、筑波大学の学生が受けている授業を来場者の方々体験できる企画です。本学の先生方の協力を仰ぎ、学術的魅力を伝え、来場者の興味や関心を持っていただくために行います。様々な分野の授業を聞ける機会となっております。また、授業は録画し、後日雙峰祭公式Webサイトで公開する予定です。授業に参加してみなければわからないこともたくさんありますので、ぜひ会場へお越しください。



学生相談室から

受付窓口 029-853-2415
電話相談 029-853-2406

気がすまない

保健管理センター精神科 石井 映美

暑い夏がやってきました。4月にはまだつくばの土地に慣れなかった新入生も、そろそろ春学期を終えようとしています。何人かの友人もでき、生活の便利もわかってきた頃でしょうか。中には、一人暮らしを始めたばかりに生活の雑事に疲れてきた学生もいるかもしれません。

保健管理センターではいろいろな悩みが聞かれますが、「気がすまない」ことで自分自身を縛ってしまう学生もいます。このような傾向があると日常生活に多大な労力を要し、次第に疲れてきてしまいます。例えば、「汚れが取れたか心配で食器を何度も洗う」、「ガスの元栓をしめたかと繰り返し確認する」などの繰り返し行為です。執拗に洗う、ないしは確かに元栓をしめたかと確認することで、汚れや事故への不安を消し去ろうとするのですが、自分でもその繰り返しは不要とわかっているのにやめられません。元々そのような傾向があると何らかのきっかけで症状がつのる場合があり、このような状態が続くと疲弊してうつ状態にも陥ります。精神医学ではこれを強迫と呼び、苦痛を訴える場合は治療の対象と考えます。「車をぶつけてしまったのではないか」、「女性に抱きついてしまうのではないか」等、実際にはないことを繰り返し心配する人もいます。

桐の葉日記

『紫峰の風』も第5号の発行となりました。前号の第4号が発行された5月から今号が発行される7月までの間に、季節は春が終わり梅雨になり本格的な夏が始まろうとしています。

前号が発行されたゴールデンウィークの頃には、追越宿舎の辺りでニセアカシアの白い花が満開になり、とても良い香りが広がっていました。その後やがて花も散り、やや茶けてしおれた花が、樹の辺りの道路一面を埋め尽くしているのをよく見かけました。

また、自分がこの紫峰の風の編集会議に参加するため毎週通る道にタイサンボクの樹があるのですが、この季節、そのモクレンに似た白い花が日に日に開いていく様子を目にすることができました。この花は大学内の色んなところで見られますが、自分は医学エリアにある樹のものが立派で好きです。

大学近くの松見公園でこうした樹や花を眺めていたら、花の終わったサクラの枝に留まったオナガの姿を見かけました。茶色と緑色の枝葉の中で、水色の翼と尾羽が目を引き、とても綺麗な鳥でした。中部地方より北の本州にしか分布していない鳥だそうで、関西出身の自分が目にするのは人生で初のことでした。渡りをしない鳥なので、その気になれば年中その姿を見られたはずなのですが、自分は筑波での生活3年目にして初めてその存在に気づきました。

先に挙げたニセアカシアやタイサンボクといった花の名前ですが、自分がその存在を知ったのは今年に入ってからのことです。しかし一度意識しさえすれば、同種の樹は町の色んな所にあったことがわかるし、オナガの鳴き声を知れば、案外生活の身近にいたことに気づきます。

3年間暮らしてきて気づいてこなかった町の花や鳥があるのと同じ様に、3年間筑波大生をやっている、大学の他学類や団体やイベントについて、まだ自分は知らないことばかりです。広報誌『紫峰の風』は学内の色んなことを取り扱っているので、その編集に関わることで、ひとつでも今まで気づけてこなかったことに目を遣れるようになったらいいなと思っています。

(文責/体育会執行委員会広報局長 仲清峻・知識3年)

「癖だから仕方がない」と我慢する向きもありますが、実は今日精神科治療がある程度有効です。薬物療法では、抗うつ剤等の向精神薬である程度の改善をみまし、昨今注目される暴露反応妨害法等の認知行動療法(心理療法)も有効とされています。双方の組み合わせで、トイレや入浴に何時間もかかっていた方が劇的に改善したこともありました。完全に強迫が消失しなくても、苦痛が軽減され、本分である学業や研究に注力できるようになった例は少なくありません。

もし、我が子にこのような傾向があり、それが苦痛で生活や学業の妨げになっているようであれば、是非御両親からも専門家への受診を勧めて下さい。この悩みで学業を断念する学生が一人でも減るよう、願っています。

第2期分授業料納付期限日のお知らせ

平成29年度第2期分授業料の納付期限日は以下の通りとなります。口座引落の方は11月24日(金)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座の手続きを行っていない方に対しては、専用の振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、来年度以降の納付のために口座引落手続きをお願いします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)

引落日 11月27日(月) 納付期限 11月30日(木)

■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

宿泊施設・館内食堂のご案内

筑波研修センター

紫峰会基金協力者と
旧紫峰会会員の方は
1泊200円割引します

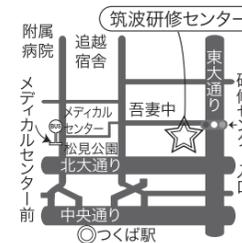
・1泊3700円より(食事別)
・シングル145室・ツイン5室・和室5室

筑波大学同窓会「茗溪会」の関連法人「(一財)筑波学都資金財団」が運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。割引対象の方は予約受付の時に申し出ください。

館内食堂 こうせい

・朝食500円均一
・定食750円より

バイキング形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽にご相談ください。(座席80明・立食可)



〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8836
E-mail center@meikei.or.jp URL http://www.meikei.or.jp/~center/

紫峰の風 第5号 2017年7月発行

発行 事業開発推進室

編集 学生部学生生活課

学生広報会議(長坂美優・創成2年、坂井大悟・情報2年、

劉承桓・地球3年、大野茜・応理3年、仲清峻・知識3年、

笹井裕平・医学2年、佐々木寛明・生物2年)

広報部会(黒川正臣・生命環境2年、山岡洸瑛・シス情1年、

米山和文・数理物質1年、清野晃平・生物4年、

村上優衣・人文4年)

タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話:029-853-5886

E-mail:gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

学生が作った 広報誌特集!!!



Campus



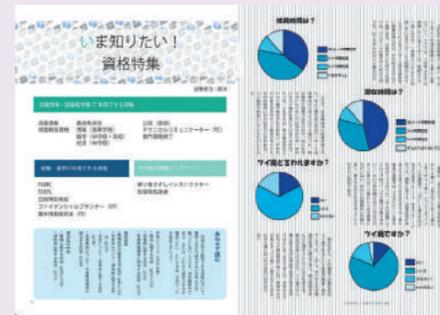
1. 全大会の広報誌「Campus」は全学学群・専門学類代表者会議（以下、全大会）の中の広報委員会が制作しています。全大会とは各学類の代表者が集まり、学内に関する事項を議論する学生団体です。その中で広報委員会は、全大会の広報と学生に有益な情報の発信を目的として活動しており、「Campus」を主に学生を対象として年間3号発行しています。1975年から発行されており、2017年時点で212号を迎えています。
2. 「Campus」では、学生の目を引きやすい特集を組むように心がけています。最新号では、恋愛を特集し、心理学から恋愛などを研究されている教授に話を伺いました。また、連載特集として各学類・専門学群を特集し、特色や分野についての紹介を行っています。
3. 広報誌配布場所
学内各所、図書館や各エリアの食堂などで。
<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/wiki/?Campus>



MILK



1. 知識情報・図書館学類誌MILKは、本学類生の有志によって2011年に興された情報雑誌です。本学類で扱う学術領域に関連する情報を記事にして発信しています。年2回の発行ですが、昨年度の冬に10号の発行を迎えることが出来ました。配布は主に春日エリアのみとなりますが、附属図書館にも納本しています。「何をやっているかまいち分からない」と言われることが多い本学類ですが、これを読むと分かるかもしれません。
2. Management, Information, Library, Knowledgeの頭文字をとった知識情報・図書館学類誌MILKは、創刊以来知識学類生による知識学類生のための記事をさまざまに取り扱ってきました。具体的には、日本国内外の図書館や書店や博物館、学類でのイベントを特集しています。
3. 広報誌配布場所
春日エリア 図書館情報学図書館エントランス等
・Webアドレス
知識情報・図書館学類誌MILK
http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/
(文責/知識情報・図書館学類誌MILK編集部 彼島瑞生・知識3年)



筑波スポーツ新聞



1. 筑波スポーツ新聞は、本学体育会部活の活躍を多くの方々に知っていただくことを目的に、年4回、リーグ観戦記や主将・代表選手などへのインタビューをカラー紙面で取り上げています。創刊年は1977年であり、今回発行の7月号が190号目となります。編集は、体育会本部広報局の下部組織に当たる「筑波スポーツ編集部」が担当しており、編集部員は、文系理系問わない11名のスポーツ好きなメンバーで活動しています。
2. 幅広い分野を取り上げる筑波大学新聞の隣に、本学体育会部活の情報に特化した「筑波スポーツ新聞」が配布されているのをご存知ですか？本紙は大きなカラー紙面を特色としており、今号（第190号）では春リーグの結果を中心に1～4面で計10団体の試合や選手インタビューを取り上げています。お近くの図書館や食堂でぜひ見つけてみてください！
3. 広報誌配布場所
学内：1C棟、2B棟、3A棟、4B棟、体バチ、芸バチ、大学内各食堂、大学内各図書館、大学内各書庫部、各宿舎共用棟、スチューデントプラザ、本部棟、体育系サークル館、体育センター、保健管理センター
学外：つくば市役所、市立中央図書館、春日公民館、つくば駅改札口前の売店
・Webアドレス
筑波大学体育会HP
(https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/tsukuba_sports)からWeb版を閲覧できます。
(文責/筑波スポーツ編集部 島田すみれ)

広報一覧

学類発行の学類広報誌は徐々に減少している。
現在発行している学類誌は以下の4誌である。

●『学内誌名称』 発行元
配信場所
アドレス

- 『MAST』情報メディア創成学類 MAST編集部
ウェブ配信のみ
<https://magazine.mast.tsukuba.ac.jp/>
- 『WORD』情報科学類 WORD編集部
第3エリアA・C棟、図書館など
<https://www.word-ac.net>
- 『資季彩葉』生物資源学類
生物資源学類の学生控室
- 『MILK』知識情報・図書館学類 学類誌MILK編集部
春日エリア 図書館情報学図書館エントランス等
http://klis.tsukuba.ac.jp/klis_milk/

学類誌以外の学生の作る主な学内誌

- 『筑波スポーツ新聞』筑波スポーツ編集部
学内各所
https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/tsukuba_sports
- 『全大会の広報誌 Campus』全大会
学内各所
<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/wiki/?Campus>

広報誌は大学内で配布されているだけでなく、ホームページなどで公開されているものもあります。興味を持ったものがあれば、ぜひアクセスしてご覧ください。学校や授業のことだけでなく、学生の日常生活についても知ることができます。

芸術系サークル連合会活動紹介 ～芸サ連をもっと知りたい～



あわせ練習（指揮者も学生がやります）

合唱団むくどり

合唱団むくどりの特徴は様々なジャンルの曲を合唱で歌うところです。クラス合唱でなじみのある曲から、ガチな合唱曲、さらにはJ-POP、アニソン、童謡、映画挿入歌まで、幅広く活動しています。楽譜がない場合は作ったりもします。

私たちの多くは、部活動などでの合唱の経験がありません。それでも、地道な練習をしていくうちに、少しずつ上達していきます。そのような経験を通して人と交流すること、居場所を作ることが、私たちの活動の趣旨です。芸術性を高めるといふようなところに主眼を置くのではなく（無論これも重要なことではありますが）あくまで人と人とのつながりを作ることを第一の目標としているのです。

（寄稿／合唱団むくどり団長 小島久樹・日3年）



松美池ステージでのライブ

筑波音楽協会

筑波音楽協会—通称『筑音（ちくおん）』—は、筑波大学芸術系サークル連合会に所属する筑波大学公認の軽音楽サークルです。筑波大学の軽音楽サークルの中では最も歴史が長く、ロックを中心として、HR/HM、プログレ、オルタナ、J-POP・ROCK、弾き語りなど、幅広いジャンルで個性豊かなバンドが、月例ライブややどかり祭、学園祭での野外ステージライブなどを目標に日々練習しています。文化系サークル館C室を練習スタジオとして使用しており、スタジオ機材はとても充実しています。また、ライブは会場の設営から自分たちで作りに上げていくので、サークルメンバー同士の信頼はとても厚く、和気あいあいとした雰囲気の中活動しています。（寄稿／筑波音楽協会会長 八辻拓・医学3年）



普段の活動風景

書道部

書道部では普段自分の書きたいように書かれています。その内容は様々で楷書はもちろん行書や草書、中には隷書という古代の中国の書き方を書いている人もいます（執筆者本人も大学から隷書を始めました）。

秋口になると外部のお祭りで、簡易ですが書道パフォーマンスを行ったりもしています。筑波大学の学園祭である雙峰祭では毎年神楽月書展という書展を開いています。夏休み前後から作品の制作を始め、軸装という紙を巻物のようなものに付け展示できるような状態にするところまで私たちが行うので、この時期が特に忙しくなります。最近では篆刻なども始めたので、さらに表現の幅が広がったと思います。ゆったりとしたいいサークルです。

（寄稿／書道部責任者 塚原浩平 応理・3年）



作品のワンシーン

ViCC -映画をつくる会-

ViCC（ビック）-映画をつくる会-は筑波大学唯一の自主制作映画サークルです。現在25人のメンバーで活動し、学内の演劇系サークル等と協力しながら企画・演技・撮影・編集・上映を行っています。上映会は雙峰祭の企画として行うほか、春と冬に学内で定期上映会を開催しています。2016年度は合計で15作品を制作し、そのうちいくつかの作品は映画祭で入選し、北海道、東京、鳥取のスクリーンで上映していただくことができました。

今年度は他サークルとの連携をさらに深め、学生にしかつくることのできない個性豊かな作品を制作・上映していきますので、ぜひ上映会にお越し下さい。

（寄稿／ViCC-映画をつくる会-責任者 森元諒・情報3年）

文化系サークル連合会活動紹介 ～文サ連をもっと知りたい～

漫画研究会

漫画研究会では、主に漫画やイラストの作成やその批評、会誌の発行を行なっています。特に会誌「にじますぐい」の発行は活動の中心であり、会員はそれに寄稿する作品の制作に日々勤んでおります。「にじますぐい」は主にサークル外の方々に向けて発行する会誌であり、内容は全て会員のオリジナル作品です。年に3回、春の新歓期間、夏の同人誌即売会（コミティアやコミックマーケット）、秋の学園祭で発行し、それぞれのイベントで発行しています。中でも、夏に発行する会誌は大きなイベントで頒布するため、印刷所に製本をお願いしています。また、サークル内で読み合う会誌も年に数回発行しており、こちらでは身内向けの作品や二次創作作品も寄稿しています。新歓の直後には自己紹介本も制作し、ここで漫画原稿の書き方を覚えることができます。そのほかにも、「お題ノート」を会員同士で回し、「ファンタジー」や「制服」などノートごとに決められたテーマに沿った絵を描き、コミュニティノートのようにコメントを寄せ合う活動もしています。とても気軽に描けるため、自分の好きなキャラクターを描いてその作品を部員に勧める……ということにも、一役買っています。また、夏と春の長期休業中では合宿を開催しています。夏は主に名所めぐりなどの観光を、春は泊りがけの漫画制作を行なっています。このように、漫画研究会では部員同士が和気あいあいとしながら、漫画やイラストの制作に励んでいます。

（寄稿／漫画研究会会長 高橋智衣子・比文3年）



仙丈ヶ岳山頂への道中

山岳旅の会

私たち山岳旅の会は、会員は10名弱と比較的小規模ですが、昭和生まれの歴史ある登山サークルです。活動内容は、日帰りや1～3泊程度でテント泊縦走・ピストン等の形式で雲取山や磐梯山など関東圏の代表的な山々（筑波山は毎年恒例!）や日本アルプス（北・中央・南）での登山、そして渓谷や湿原でのハイキングをしています。趣味、運動不足解消、気分転換、動植物観察や天体観測といった、様々な嗜好・目的を持つ会員たちと共に、初心者経験者問わず夏季の山登りを楽しんでいます。また、ロッククライミングや冬季のアイゼンを要する登山は当会では禁止しており、メンバーの“安全第一”でこれからも活動を続けていきたいと思っています。

（寄稿／山岳旅の会代表責任者 加藤圭士郎・地球3年）

現代視覚文化研究会

私たち現代視覚文化研究会はオタク文化についてより深い知見を得ること及びオタク文化を通じて学内の様々な人と交流を深めるのを目的とした総合系オタクサークルです。現視研には、現在小説・イラスト・製本・レビュー・音楽・喫茶・声優・フリコピ・コスプレの9つの班が存在し、それぞれの班が自由に活動しています。小説・イラスト・製本・レビュー・音楽班はイラストや小説、漫画が載った会誌やレビュー本、音楽CDの頒布をします。喫茶、声優、フリコピ班は学園祭でのフリコピやメイド喫茶、声優やアニソンアーティストを呼んでのイベント運営を行っています。コスプレ班は学内のイベントやコミックマーケットでコスプレをします。どの班もイベントの直前は忙しいですが、普段は最近読んだ漫画や見たアニメの感想を話し合ったり、一緒にイベントに行ったりするゆったりとした雰囲気の中で活動しています。

現視研は現在100人を超える会員が所属しています。その中には理系や文系、芸術系だけでなく留学生や大学院生もいて学内における広い交流関係を作るのに有意義なサークルとなっています。

今後の活動目標は、制作物やイベントを通じてオタク文化に興味の無かった人にもオタク文化について知ってもらうこと、学外の他のオタクサークルとの交流を取り入れることで自分たちの活動をより発展させていくことです。もし機会があればこれを読んでの皆様が弊会の作品に触れていただければと思います。

（寄稿／現代視覚文化研究会会長 清水圭太・情報3年）



活動の様子

手話サークル

手話サークルでは、週に2回例会を行い、スピーチ・勉強・企画（レクリエーション）を通して手話技術の向上に努めています。また学園祭では、手話劇と手話コーラスを毎年発表しています。その他にも手話コーラス発表会、夏合宿、クリスマスコンパなど楽しいイベントが沢山あります。また、今の代の方針として手話サークルを「障害を障害でなくし、誰もが自分の能力を発揮できる場」にしたいと考えており、そのためにはどうしたらいいのかをサークル員で考えつつ日々の活動に活かしています。写真は例会の様子で、ディスカッションを行っているところです。与えられたテーマについてメンバー間で意見を交わしています。

（寄稿／手話サークル会長 三浦淳・障害3年）

全学学類・専門学群代表者会議活動紹介 ～全代会をもっと知りたい～

教育環境委員会



全代会の委員会紹介をする教育環境委員会委員長

教育環境委員会は、筑波大学内の教育環境に関して、議論し行動する。学生の立場ならではの意見を大学側に伝え、筑波大学がより充実した教育の場となることを目指す委員会である。

2016年度の反省

昨年度は秋学期以降、佐藤が委員長を務めたが、業務の引継ぎが上手くいかなかったため全く活動を行わなかった。引継ぎが上手くいかなかった原因を以下の様に分析する。

- 引継ぎ資料はあったが仕事の内容が多く、詳しい月や年間の流れについては触れられておらず、いつ何をすればよいか判断できなかった。
- 3、4年前のアンケート等のデータ分析が残っていたが、その当時何の目的で行われていたのか分かる人が居なかった。
- 年間を通し引継ぎを行わなかった。

以上の点を踏まえ、活動方針を決定した。

2017年度の活動方針

今年度は、筑波大学の教育に関する問題点を多くの学生から集め、大学側に伝え、より良い教育環境への改善・実現を目指す。そのため今年度は今まで引き継がれていた仕事をリセットし、ゼロから活動を開始していく。現状抱え込んでいる過去の仕事を破棄し、体系だった年間の流れの構築に力を入れ、同じ状況が発生しない様改善する。

2017年度の活動内容

- 履修期間における授業体制の調査、改善
履修期間における授業体制の調査、改善をおこなう。履修期間における一部授業において、履修期間中における出席点の導入、初回授業未出席の場合に以降の出席を認めないなどという学生側に不利益がある体制を取っている授業があり、改善してほしいという依頼が届いた為。現状の実態調査等の情報収集をし、改善策を立案する。
- 筑波大学の空調に関する調査、改善
空調環境の改善に向けて活動する。特に夏は暑く、学生は講義に集中できていなかったり、教員が指導に集中できなかったり。学生や教員、職員に授業に集中できない等の影響があることから、改善に向けて施設部と議論を行う。
- その他活動
その他、学生等から上がってきた意見や要望について議論し、調査、検討を行なう。
(寄稿/教育環境委員会委員長 佐藤航平・物理2年)

生活環境委員会



全代会会員の前に話す生活環境委員会委員長

<委員会の紹介>

生活環境委員会の役割は、学生生活をよりよいものにするために、学生から収集した意見を大学側に届けることである。学生向けの短期アンケート調査と管理会社及び学生生活課への資料提出を数回行うなど、意見伝達の場を積極的に設ける。また、学生から一方的に意見を収集するだけでなく、学生にとって必要となる、あるいは得になる情報を積極的に学生に向けて周知をする。また、今年度から教育環境委員会、調査委員会との合同定期

ミーティングを試行する。そうすることで各委員会が各々の進捗状況を容易に確認できると同時に、取り組む問題に応じて議題待機中の委員会から人員を割くなど、柔軟に対応できるようにしようと考えている。各委員会と協力し合って業務を分業できるため、効率よく問題に取り組み、より早急な対応が期待できる。

活動頻度は週に1回ミーティングを行う。そのミーティングが合同になる、あるいは中止になるかは各委員会の委員長が話し合い活動状況によって決定する。

<活動紹介>

昨年度の生活環境委員会では、自転車マナーアップの呼びかけ運動、寄宿料改定に関する協議、移動販売車両の導入に関する協議、学内循環バスのシステム改善に関する協議への参加をした。自転車マナーアップ運動については夏から秋にかけて、他団体の方々と協力し、第三エリア・外国語センター周辺にて呼びかけを行った。しかし一度改善は見られたが時間が経つと再び放置自転車や不定位置の駐輪が目立つようになったため、今年も積極的に呼びかけをしたい。

寄宿料改定に関する協議では、以前の寄宿料金の改定とグローバルヴィレッジの設立、一部宿舎の取り壊しについて話し合いを行った。移動車両販売の導入に関する協議では、一部エリアのキッチンカー設置による売り上げ向上、キッチンカーのメニュー改

善について話し合いを行った。学内循環バスのシステム改善に関する協議では、学生の自転車マナーアップ向上、学内ループ上の突起排除、路面標識の修復について話し合いを行った。これらの協議については、学生向けにクラ代会を通して情報の周知を行っていた。今年度はクラ代会を通す他に掲示板やSNSでの周知を行う予定である。

また今年度は一年生の構成員が多いため、早期経験させることで活動が滞りなく円滑に進むようにしたい。そのために過去資料を用意するなどして積極的に知識の幅を広げ、全体の流れを早めに把握しておくことが重要である。(寄稿/来栖壮馬・情報2年)

『紫峰の風』 発送作業



体育系サークル館での発送作業の様子 (体育会)



大会会館での発送作業の様子 (文サ連、芸サ連合同)

紫峰の風は平成28年7月の創刊以降、今回で5回目の発行を迎えました。紫峰の風を寄附者の皆様のお手元にお送りするため、三系(文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会)の広報局長が中心となり、各系に所属する約150の団体から合計で200人以上の学生が集まって無償で発送作業を実施しています。

この発送作業は旧紫峰会の頃より実施しており、約40年の歴史があります。学生たちが無償で発送作業を実施しているのは、元々は学生たちが「援助金をいただいたお礼を自分たちの手でする」と考え、実践したことに尽きます。この精神は40年近く経ち、大学に業務移行した今でも脈々と受け継がれてい

ます。紫峰の風発送作業では、毎回約1万部の発送をしていますが、作業時間は1～2時間程度とできるだけ学業や課外活動へ影響が出ないように最大限配慮されています。学生たちは挟み込みや封入、宛名ラベル貼り、仕上がりチェックなどの各担当に分かれて作業をします。これまでの長い歴史の中で、担当する学生たちと職員で知恵を出し合い、効率よくできるような何度も改善を重ねてきた結果、当初の1/3ほどの時間で完了するようになりました。それぞれがしっかりと役目をこなすことで、全体の効率が上がるという好循環になっています。

団体お悩み掲示板

● 団体からの要望

昨年度から体育会の多くの団体が部室として利用している、体育系サークル館にて盗難事件がありました。部室利用団体より、盗難への対策を講じて欲しいという要望が多くありました。

● 体育会執行委員会の対応

学生生活課と相談をさせていただき、ダイヤル式ロッカー6台を購入していただきました。団体に希望を取った結果、6団体の部室に設置することとなりました。各部室に扉を付けるなどの意見も出ましたが、予算の問題や鍵が限られた個数しか用意できず不便であることからダイヤル式ロッカーを採用しました。ロッカーの導入をした団体の方々には、これを機に貴重品の管理を徹底していただきたいです。執行委員会では、こうした団体の要望を常に募集しております。



ダイヤル式ロッカー



忘年射会

医学弓道部

私たち医学弓道部は総勢53名で、日々春日弓道場で弓を引いています。週2回の正規練習と毎日の自主練習に多くの部員が参加しています。正規練習では3時間、射技の稽古や審査に向けた体配の練習に取り組んでいます。新入生の育成にも力を入れており、土曜日には一年生の指導を重点的に行っています。私たちが目指しているのは、部活全体で一つの流れに沿ったうえで一人一人の骨格に合わせた射です。その為、経験者・初心者問わず互いに切磋琢磨しながら成長できます。部員それぞれが試合や審査などの目標を持って、勉強と両立しながら練習しています。現在は夏の東医体、看学戦での優勝を目指し、部員一丸となって練習に励んでいます。応援よろしくお祈りします。

(寄稿/医学弓道部主将 海老原賢治・医学3年)



東医体男子ダブルス

医学卓球部

医学卓球部の総部員数は40人ほどで、医学群が多いですが、様々な他学群の部員も所属しています。週3日の活動時間で正規練習をしており、それ以外の時間でも自主練習が開かれています。練習では課題を自分で考えて取り組み、部員同士で教えあうことで、大会でより良い成績を残せるよう実力をつけていきます。私たちは春関・東医体・秋関・東日本医歯薬の4つの大きな大会に出場しています。これらの大会だけでなく、医学群以外の部員も一緒に参加できる地域の大会などにも積極的に参加しています。直近では東医体で準優勝、秋関と春関で優勝するなど、良い成績を残せています。これからも部員一丸となって上を目指して練習していきたくと考えています。

(寄稿/医学卓球部 東高伸・医学4年)



組手練習

空手道部

押忍！ 体育会空手道部です。現在我が部は、武道館一階にて平日夕方二時間を活動時間に充てています。部員数は決して多くはありませんが、その分オープンな雰囲気の中で、練習方法も各自がアイデアを出し合いながら工夫して練習に励んでいます。

具体的な練習内容としては、突きや蹴りといった空手の基本的な動作の反復練習(その場基本・移動基本)、基本動作を応用し相手を想定して演武する練習(形)、実際に相手と技を出し合う実戦練習(組手)を三つの柱としています。特に組手には力を入れており、秋の全国国公立大学選手権での団体戦優勝を大きな目標として、日々汗を流しているところです。

これからも熱く、激しく、真摯に、空手と向き合っ練習に打ち込んでいきますので、応援よろしくお祈りします！

(寄稿/空手道部主務 吉邨進太郎・人文3年)



つくば体操フェスティバル (フィジオ)

体操部

私たち体操部は、徒手体操や組体操、Gボールやラートなどの器具を用いた体操、更には自分たちで新しい手具を生み出しそれらを用いた体操などを行っています。これらのものに音楽を合わせた動きを創作し、様々な場で発表や体験会を行っています。「目的に応じた正しい身体の動かし方を身につける」「体操の新しい可能性を国内外に発信する」という2点を特に大切にしており、これらの実現に向けて練習の内容も自分たちで考えながら、日々の活動に取り組んでいます。現在は、今年の夏にノルウェーで行われる「World Gym for Life Challenge」という大会への出場に向け、フィジオロール(まゆ型Gボール)の作品づくりを進めています。フィジオロールの溢れる可能性と私たち自身の洗練された動きが十分に見せられるよう練習に励みたいと思います。

(寄稿/体操部主務 瓜兼汐里・体専3年)

E.S.S.インタビュー



ディベートの様子

今回は、文化系サークル連合会に所属するE.S.S. (English Speaking Society) という団体について特集しました。最近行われた「Japan National Debate Tournament(以下JNDTと表記)」という大会で優勝者を出し、今後の活躍が気になる団体の一つです。そこで、大会で優勝した福田航輝さん、池雲超さんにインタビューへ協力していただき、JNDTに関することなどを伺いました。

Q「E.S.S.とは、どんなことをする団体なのでしょう。」

A「英語を使用してアカデミックな話題について語ることが主な活動内容です。」

Q「普段の活動内容について教えてください。」

A「サークル内でスピーチセッションとディベートセッションの2グループに分かれて活動しています。普段の練習もグループごとに別々です。スピーチのほうは週に2回の練習を行っています。ディベート側は定期的な活動は少ないですが、大会前には練習や練習試合を行います。」

Q「今回優勝したJNDTはディベートの大会ですが、ディベートとはどんな競技なのかを教えてください。」

A「ディベートは、ある話題について賛成・反対に分かれてそれ

ぞれの意見を述べ、第三者を納得させる競技です。各大会で1つの話題について4～10試合討論します。各試合の前に肯定派か否定派かが決まります。題材はあらかじめ知らされているので、大会で討論するために事前に詳しく調べておきます。」

Q「今回行われたJNDTについて、大会の概要、本番の様子、本番に向けてしていたことなどを聞かせてください。」

A「関東予選は東京で、その後全国大会が京都で開催されました。優勝するには予選で30試合、全国大会で20試合勝ち進む必要があります。大会は大学で行われ、OB・OGも集まりました。優勝するために準備段階から一生懸命頑張りました。やはり準備が命だと思います。議題について調べておくことで、ある程度どのような議論になるのかも予想できるので、また、英語で話さなくてはいけないので、その練習も必須です。家で英語のスピーチの練習を繰り返しました。」

Q「JNDTで優勝した感想をお願いします。」

A「素直に嬉しいです。この大会は以前先輩が優勝していたので、私たちが勝ちたいと思っていました。また、去年と同じチームで出場してベスト4だったのですが、今年ももっと上を目指そうと頑張りました。他の大会では思うような成績を残せていなかったため、ここで払拭できたのは良かったです。」

Q「これからの目標は？」

A「私たちE.S.S.はNAFA(全日本英語討論協会)という団体に所属しています。NAFAが定めている5つの大会があり(JNDTもその一つ)、それらの大会成績によって大学の順位が決まります。今年の目標はそこで1位をとることです。優秀な成績を残していった先輩方に負けたくないよう頑張りたいです。」

(取材/文サ連広報局員 坂井大悟・情報2年)



2016関東秋季リーグ

軟式庭球部

筑波大学体育会軟式庭球部です。私たちは、週5回(月・水・金・土・日)主に体芸テニスコートで活動しています。

2017年7月1日現在の部員数は男子17人、女子6人です。

体育専門学群の部員もいますが、応用理工学類・工学システム学類・数学学類・心理学類・比較文化学類など様々な学群の部員がいます。また、インターハイ経験者から中学校でしかやっていなかった人など経験も様々です。関東学生ソフトテニス連盟に所属しており、男子は3部で2部へ、女子は4部で3部へ昇格できるように努力しています。またインカレなどの全国大会にも参加し、上位を目指しています。

(寄稿/軟式庭球部主務 小嶋悠介・体専3年)



2017年新入生歓迎射会

弓道部

我々弓道部は男女ともに全国制覇を目指し、日々の稽古に励んでいます。体育会の部活動ではありますが、部員の半数以上は体育専門学群ではなく、他の様々な学群に所属しています。初心者もいますが練習での丁寧な指導により、試合で活躍している選手も多いです。弓道部の主な大会には春の選抜、夏の全関、全日、秋季リーグと王座決定戦があります。特に秋季リーグを勝ち抜き、関東大会で優勝すると出場できる王座決定戦は、大学弓道において最高峰の大会であり、我々の最大の目標といえる大会です。今シーズンは春季トーナメントでの女子優勝、男子準優勝、さらに男子の選抜出場と良いスタートを切れました。この勢いに乗って、全関、全日で勝ち、さらには王座決定戦に出場できるよう、日々の稽古に励んでいきたくと思います。(寄稿/弓道部主務 泉佳孝・情報3年)